

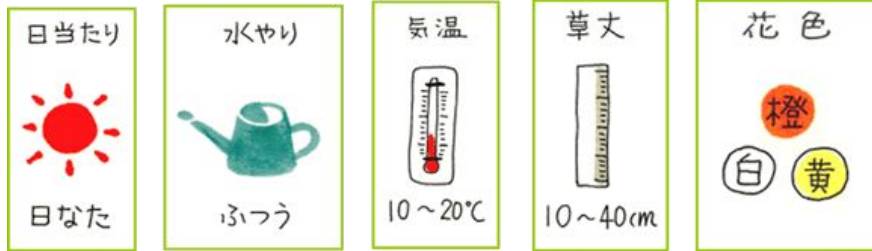
お花の栽培シリーズ「スイセン」		
2006年2月	如月(きさらぎ)・令月(れいげつ)・梅月(むめづき)・梅見月(むめみづき)・初花月(はつはなつき)・雪消月(ゆききえつき)・仲月(ちゅうしゅん)	●春に向けての準備期間
立春がすぎると気候にも変化が始まり、自然界には「春」がやってきます。凍っていた地面がゆるんで、土がやわらかくなるこの時期には、本格的な春に向けての準備をしましょう。		
庭木の作業	凍っていた地面がゆるんだら、穴を掘り、元肥を入れて準備する。冬囲いをとる。バラやフジなどの花木では、整枝剪定の時期です。	
草花の作業	1月に掘り起こした土に堆肥や有機配合肥料を全面にまきましょう。	

今月の誕生花	ウメ・サクラソウ・スノードロップ・フクジュソウ	
今月の花	ツバキ 花言葉/ (赤)ひかえめな美德 (白)最高の愛らしさ	
	名前の由来は、葉にツヤがあるから、「艶葉木(つやはき)」から転じて ツバキという名がついたとか、葉が厚いことから「厚葉(あつき)」の転じたものとか、葉が常緑だから「寿葉木(すはき)」の転じたものとか いわれています。散るときには、ポトリと首を落とすツバキ。その様子は、ちょっと縁起悪く見えるので、お見舞いや新築祝いなどには向かない花といえるでしょう。	
	<p>原産地は日本の太平洋沿岸、中国。ツバキ科ツバキ属の常緑高木。丈は2m～10m。開花時期は12～4月。最盛期は1～2月。葉の形状は互生、長さ6～12cm。花色は赤、白、ピンク、複色、覆輪など。別名: ヤブツバキ、生ツバキ。英名カメリア (Camellia)。</p> <p>原産地は、日本や中国で 17世紀にヨーロッパに渡りました。</p> <p>当時のスペイン王は、うつ症状に苦しんでいましたが、贈られた白いツバキが大変気に入って、王宮の庭に このツバキを植えて 雪のように白いツバキを見ているうちに うつ症状がなくなった…ともいわれています。</p> <p>「控えめな美德」「最高の愛らしさ」という花言葉は、この花に 香りがないことからつけられました。</p> <p>デュマ作「椿姫」の主人公は、月のうち25日間は 白いツバキ、残りの5日間は 赤いツバキを胸にかざる、社交界の貴婦人でした。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花

スイセン



変化に富んだ たくさんの品種があります。

寒さに強い早春の花ですが、年内に開花するものもあります。

毎年花を咲かせるには、花後の管理が大切です。そのためには「球根の掘り上げ」を心がけましょう。

水栽培でも楽しむことができますが、葉が伸びすぎたりするので、1月頃に植えて草丈をおさえるようにします。

寒さに当たらないと 花が咲きませんから、水栽培の場合も開花前までは屋外で管理します。



●よい球根の見分け方

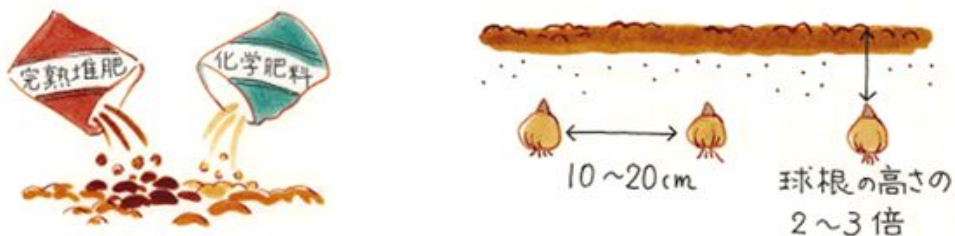


●植えつけのやりかた

★露地植え

植えつけは、水はけと保水性のよい場所がよい。

植えつけの10日ほど前に、完熟堆肥や緩効性の化成肥料などをほどこしてよく耕しておきましょう。



★鉢植え



●球根の掘りあげ



葉が枯れて、黄色くなると球根を、掘り上げる



ベンレート水和剤1000倍液



掘りあげたら、すぐにつける



風通しのよい日かげに保存

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況	生育期				花期	休眠期 ※※※※※※※※※※※※※※					花期	生育期
置き場所	屋外の日当たりのよい場所						屋外の日当たりのよい場所					
水やり	表土が乾いたら与える(2~3日に1回)		表土が乾いたら与える(1日に1回)						表土が乾いたら与える(2~3日に1回)			
肥料	置き肥				置き肥							
病気害虫												
作業					花がら摘み				花がら摘み			
						掘りあげ…露地栽培は2~3年毎。鉢植えは毎年。						